小売価格の動向について

1　小売物価統計調査の目的と仕組み

小売物価統計調査は，消費生活に関する重要な指標である「全国消費者物価指数（CPI）」及びその他物価に関する基礎資料を作成するため，昭和25年から開始し，現在では，全国167市町村で実施しております。なお，茨城県では水戸市，日立市，つくばみらい市において実施しています。

調査の方法は，統計調査員が毎月店舗や世帯を訪問し，価格や家賃等を聞き取り，調査結果データをPDA（携帯情報端末）で総務省統計局へ送信するというとてもシンプルな方式ですが，この方法は正確な実売価格データをより迅速に集める必要があることから採用されています。

また，物価指数の作成にあたっては，調査する品目，商標（銘柄），調査日など，全国共通の条件で調査しております。

たとえば，調査日は毎月12日を含む週の水・木・金曜日とし，調査店舗は地域の住民がより多く買い物をする店舗を選定します。また，「本日限りの特売」や「在庫品一掃セール」など通常価格と異なる価格は調査対象としないこととし，さらに，調査する銘柄の素材や型式なども定め，調査の仕方によって差が出ないようにしています。

総務省では全国の調査員から集められた価格データを基に，「全国消費者物価指数」を作成し，新聞やホームページで公表しています。

なお，統計調査員は，個人や法人に関する情報を取り扱うため，調査中は調査員証の携行はもちろん，情報の管理に万全を期すことが法令で義務づけられ，万一情報を漏らした場合の罰則も規定されています。

2　最近の物価の動向

総務省が発表した10月分の全国消費者物価指数（総合，平成22年=100）は，100.0で，前月比は0.1%上昇し，前年同月比は0.2%の下落でした。

前年同月比に寄与した主な内訳は，上昇が電気代4.8%（寄与度0.15），自動車等関係費（ガソリン他）2.4%（同0.19）で，下落が教養娯楽用耐久財（テレビ他）▲24.8%（同▲0.38），家庭用耐久財（電気冷蔵庫他）▲15.7%（同▲0.18）などです。

また，天候や市況に大きく影響を受ける生鮮野菜やガソリン価格などを除いて作成した，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除いた総合指数（平成22年=100）は98.6で，前年同月比でみると1.4%下落しています。最近のこれら物価の動向を総合してみると，持続的な物価下落という意味において，緩やかなデフレ状況にあると言われています。

＊寄与度とは，物価の動きに対して，各内訳項目がどれだけ影響したかをみるものです。

3　小売物価統計調査の結果から

平成22年平均都道府県庁所在市別小売価格で，水戸市の価格が最も安かったものと高かったものは次のとおりでした。

⑴　最も安いもの

・まぐろ　100g　めばち又はきはだ，刺身用，さく，赤身

①水戸市245円　②新潟市271円　③札幌市274円

［高い順では，①鹿児島市562円　②和歌山市521円　③長崎市518円］

・ラップ　１本（幅30cm×長さ20m），「サランラップ」又は「NEWクレラップ」
①水戸市129円　②長野市134円　③札幌市141円
［高い順では，①和歌山市195円　②長崎市190円　③高松市184円］

⑵　最も高いもの

・パーマネント代　１回（シャンプー，カット，ブロー又はセット込み），ショート，女性（高校生以下を除く）
①水戸市9,738円　②宇都宮市9,436円　③高松市8,760円
［安い順では，①那覇市5,005円　②青森市5,775円　③松山市5,875円］

4　消費者物価地域差指数

物価は地域によって異なります。総務省が11月25日に発表した「平成22年消費者物価地域差指数」によれば，全国47都道府県庁所在市と4政令指定都市（川崎，浜松，堺，北九州）の総合指数は，51市の平均を100とした場合，都道府県庁所在市別に見ると，横浜市の106.8が最も高く，次いで東京都区部，金沢市，長崎市の順でした。最も低いのは宮崎市の96.9で，次いで奈良市，前橋市，福岡市，秋田市の順でした。

ちなみに水戸市は，千葉市，富山市，長野市とともに98.4で，低い方から９番目でした。

なお，一番高い横浜市と一番低い宮崎市の差は10.2%でした。

表　平成22年平均消費者物価地域差指数（51都市平均＝100）

都市名	総合指数（持家の帰属家賃を除く）	都市名	総合指数（持家の帰属家賃を除く）
1　札幌市	99.3	27　大阪市	101.3
2　青森市	99.8	28　神戸市	101.7
3　盛岡市	98.7	29　奈良市	97.1
4　仙台市	98.0	30　和歌山市	101.8
5　秋田市	97.5	31　鳥取市	99.1
6　山形市	100.8	32　松江市	101.8
7　福島市	101.5	33　岡山市	99.8
8　水戸市	98.4	34　広島市	101.3
9　宇都宮市	100.6	35　山口市	100.7
10　前橋市	97.4	36　徳島市	101.4
11　さいたま市	102.5	37　高松市	99.2
12　千葉市	98.4	38　松山市	98.6
13　東京都区部	106.5	39　高知市	99.3
14　横浜市	106.8	40　福岡市	97.4
15　新潟市	98.7	41　佐賀市	98.0
16　富山市	98.4	42　長崎市	103.3
17　金沢市	103.7	43　熊本市	100.1
18　福井市	99.0	44　大分市	98.9
19　甲府市	99.8	45　宮崎市	96.9
20　長野市	98.4	46　鹿児島市	100.7
21　岐阜市	97.9	47　那覇市	99.5
22　静岡市	99.1	48　（川崎市）	105.5
23　名古屋市	99.2	49　（浜松市）	97.5
24　津市	99.6	50　（堺市）	100.8
25　大津市	100.4	51　（北九州市）	97.1
26　京都市	101.6		

出典：総務省統計局